



39 株主通信

第39期 2012.4.1～2013.3.31



パンチ工業株式会社

証券コード：6165



代表取締役会長
森久保 有司

代表取締役社長
武田 雅亮

世界をフィールドに さらなる成長を 目指してまいります。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
パンチ工業株式会社は、2012年12月20日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。

上場後初の株主通信をお届けするにあたり、改めて株主の皆様のご支援に対し、心より御礼申し上げます。

当社グループは、1975年3月に創業いたしました、金型用部品を製造販売するメーカーで、「金型部品業界でのトップブランドを確立し、製販一体企業としての優位性を活かした高収益企業を目指す」という企業ビジョンを掲げ、一貫してものづくりにこだわり、着実に歩んでまいりました。

今後も皆様の期待にお応えするため、新市場、新分野への積極的なチャレンジでグローバル展開を進め、新たなステージを築き上げてまいります。

また、上場企業としての責任を自覚し、企業価値の向上に努め、ものづくりを通して社会に貢献していきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも末永いご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

■ 社名・ロゴマークについて

株主の皆様にご案内をいただき、社名とロゴマークについてご紹介します。



パンチ工業株式会社

社名に込められた意味

パンチ工業という社名は、創業の製品であるプリント基板用穴あけパンチの「パンチ」と、活力にあふれた「パンチ」の効いた会社という意味が込められています。

ロゴマークに込められた思い

ゲンコツマークは、「商品である金型用パンチ／ピンと企業としての勢い」を表現しており、斜線は、「稲妻のごとく業界に新風を送らんとする」意気込みを表現しています。

金型用部品の製造を通して、皆様の豊かな生活を支えるお手伝いをしています。

私たちの生活に欠かすことができない「金型」

自動車、スマートフォンやデジタルカメラなどの電子機器、冷蔵庫や洗濯機などの家電は、私たちの生活に欠かせないものであり、社会の発展を支える大きな産業となっています。そしてこれら製品を製造する際に必要となるのが「金型」です。

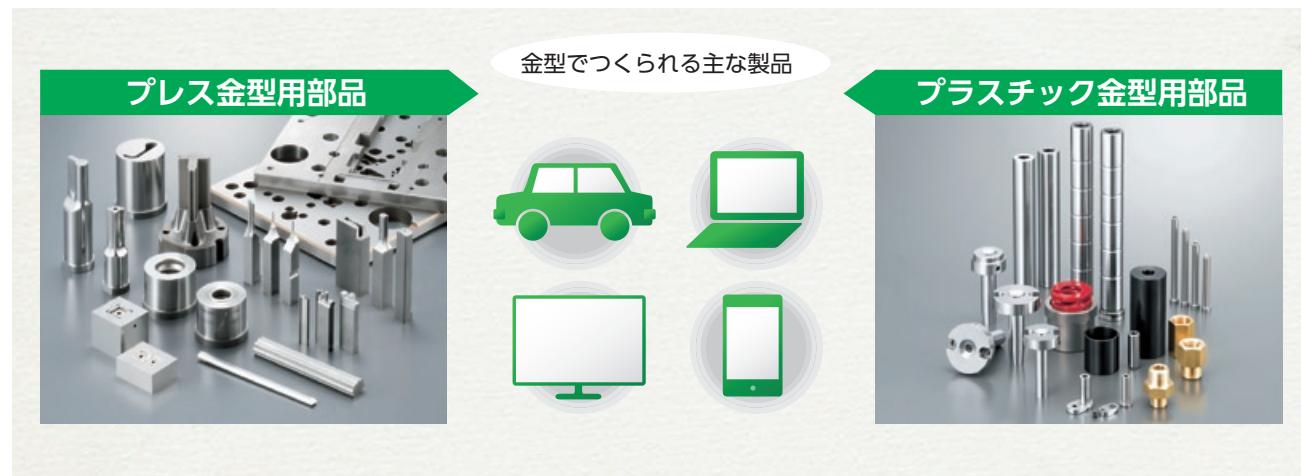
「金型」とは、製品を速く、均一に、大量につくるために金属でできた型のことです。当社グループでは、この「金型」に組み込まれて、製品をつくるために欠かすことができない金型用部品の製造販売をしています。

受注から納品までを一気通貫で行う生産体制

当社グループでは、主に金属板の成形に使用されるプレス金型用部品と、プラスチックの成形に使用されるプラスチック金型用部品の製造し、標準品だけでも現在約50,000品目にのぼる製品を揃えています。

また、標準品だけでなく、お客様の多様で高度なニーズに応えた特注品の製造も行っています。

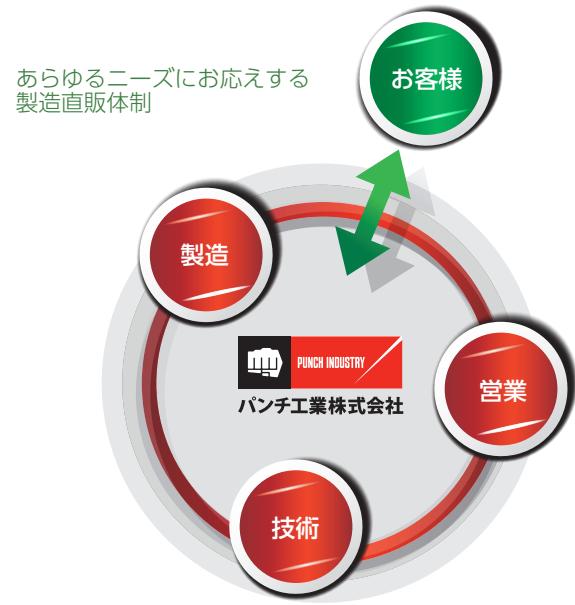
そしてこれら当社のものでつくる最大の長は、受注から納品までを一気通貫で行うことのできる生産体制にあります。この生産体制により、お客様のご要望にスピーディかつ的確な対応を実現しております。



高度な技術力と製販一体のネットワーク

「製造直販体制」において、すべてのお客様にご満足いただくためには、商品開発、製造プロセスでの高い技術力と生産設備が不可欠です。当社グループでは、世界でも屈指の最新鋭設備を備え、1,000分の1mmのミクロン単位での誤差を許さない製品づくりを行っています。

また、国内のみならず世界に広がるネットワークを活かし、世界中のお客様とフェイス トゥ フェイスのビジネスを展開しております。(詳しくは5ページをご参照ください)



当社グループは、これら製造直販体制、技術力、ネットワークといった強みを活かし、さらなる飛躍を目指して事業活動に取り組むとともに、金型用部品の製造を通して、ものづくりを支えることで社会に貢献してまいります。今後の当社グループの成長にご期待ください。



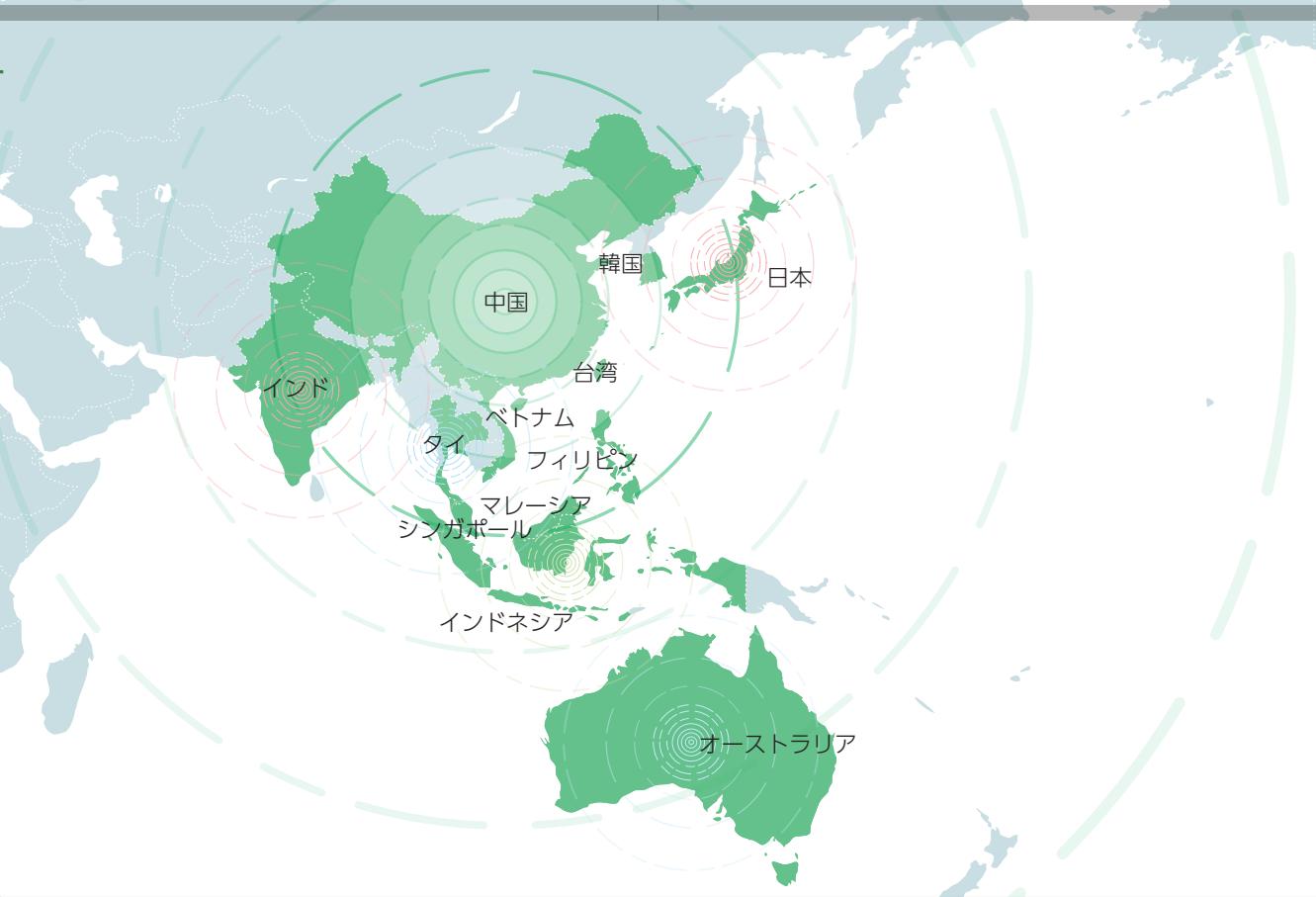
最新鋭の設備と高度な技術力が当社グループのものづくりを支えています。

「世界のパンチ工業」を目指して

当社グループは、国内に4か所の製造拠点と14か所の販売拠点、海外に6か所の製造拠点と30か所の販売拠点を設置し、グローバル・ネットワークを構築しています。

特に近年目覚ましい発展と成長を遂げている中国においては、その重要性にいち早く注目し、1990年から事業に取り組んでまいりました。その結果、現在では、8,000社以上のお客様に製品を納入し、その内訳も中国系企業や欧米系企業が日系企業を上回るなど、地域に根ざした企業に成長いたしました。

今後はさらに東南アジア、米国、欧州などへの販路拡大を行い、「世界のパンチ工業」を目指してまいります。



Topics

中国重慶に新生産物流拠点設置

今後の成長センターとして期待されている、中国内陸部への取り組みを強化すべく、重慶市に新生産物流拠点を設置いたしました。

当社はこれまで主に中国沿岸部を中心に事業展開を進めてまいりましたが、本格的に内陸部の他の大都市圏(成都、武漢など)の需要を取り込むこともあわせ、当社の中国事業戦略上の重要な布石として、2013年5月より本格稼働しております。

盤起工業(大連)有限公司 重慶工場

製造拠点

販売拠点

日本	中国	インド
14か所	29か所	1か所

国内



海外



2013年3月期は、厳しい市場環境の下、自動車市場の深耕、新市場・新分野への展開を積極的に進めるとともに、持続的な原価低減を推進することで、業績の確保に努めました。

その結果、連結売上高は、25,041百万円(前年同期比5.2%増)となりました。また、利益面につきましては、売上高はほぼ想定通りとなったものの、製品構成の変化等による原価率の上昇もあり、営業利益は707百万円(同25.2%減)となりました。

経常利益は、受取配当金の増加等により822百万円(同2.1%増)となりました。当期純利益は、前連結会計年度において発生した固定資産売却益及び減損損失の減少、繰延税金資産の取崩し等により、213百万円(同45.9%減)となりました。

■ 今後の取り組みと見通しについて

当社グループは、国内を中心とした成熟市場での勝ち残り、成長市場でのポジションを確保し持続的成長を目指す

すため、グローバル化・新市場の開拓・高収益事業モデルへの転換の3点を重点経営課題と認識しております。

○グローバル化

国内及び中国中心の事業からインド、東南アジア地域への積極的業務展開及び欧米への販路開拓によるグローバル化を推進してまいります。

○新市場の開拓

新しい市場に積極的に取り組んでいくとともに、金型部品事業にはしっかりと軸足を据えながらも、今まで培ってきた技術開発力やものづくり力を活かすことのできる新しい分野での事業開拓にも力を入れてまいります。

○高収益事業モデルへの転換

「ものづくり」で付加価値を創造し企業価値を高めていくことは、当社グループの最大の使命であると認識しております。従いまして、継続的な原価低減活動につきましては、グループを挙げ、より一層強化してまいります。あわせて、新市場開拓とともに、より高付加価値な製品の開発、拡販に取り組み、高収益事業モデルへの転換を図ってまいります。

配当について

■基本方針

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定かつ継続的な配当に加え、連結業績との連動性を重視することを基本として、財政状態、利益水準や配当性向などを総合的に判断して、適切な利益配分を行っていくことを方針としております。配当性向につきましては、連結ベースで20%以上を目標に実施してまいりたいと考えております。

■2013年3月期 期末配当について

当期の業績及び今後の事業展開等を勘案し、1株当たり15円の普通配当に、記念配当の5円を加えて、1株当たり合計20円とさせていただきます。

■2014年3月期の配当について

2014年3月期は、中間配当を実施し、1株当たり中間配当7.5円、期末配当7.5円とし、年間で15円を予定しております。

連結財務ハイライト

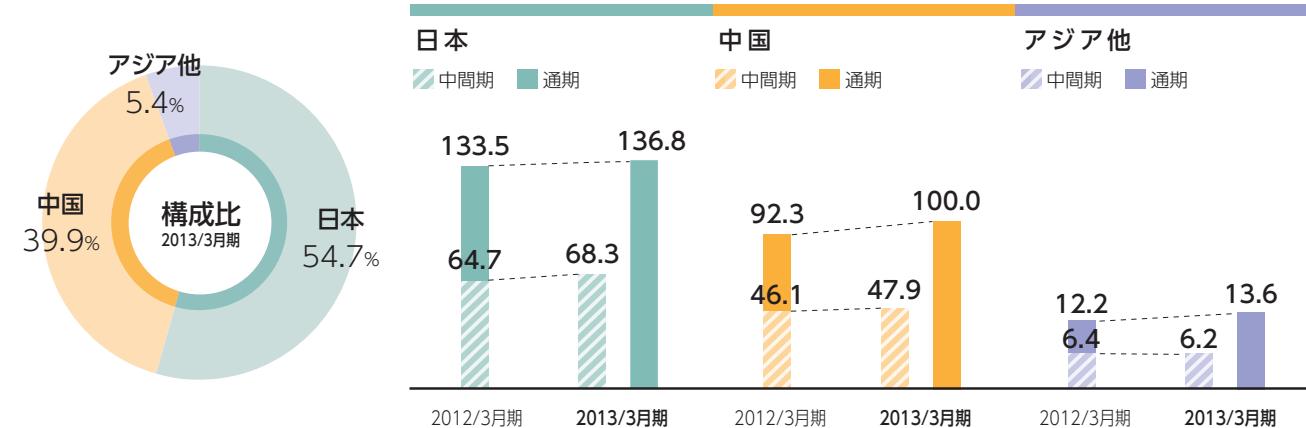
(単位：百万円)



地域別売上高

当社グループは、グローバルなネットワークを構築しておりますが、その中でも中国は売上高構成比の約40%を占める大きな市場となっております。各地域別の売上高では、当期は国内外ともに堅調に推移いたしました。

(単位：億円)





連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2013年3月31日現在	2012年3月31日現在
資産の部		
流動資産	12,463	11,503
固定資産	8,110	7,392
有形固定資産	6,654	6,460
無形固定資産	264	258
投資その他の資産	1,191	673
資産合計	20,573	18,895
負債の部		
流動負債	11,897	10,109
固定負債	2,950	4,489
負債合計	14,847	14,599
純資産の部		
株主資本	5,649	4,821
資本金	674	382
資本剰余金	403	111
利益剰余金	4,572	4,417
自己株式	-	△90
その他の包括利益累計額	76	△525
その他有価証券評価差額金	20	△0
為替換算調整勘定	55	△524
純資産合計	5,726	4,296
負債純資産合計	20,573	18,895

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2012年4月 1日から 2013年3月31日まで	2011年4月 1日から 2012年3月31日まで
売上高	25,041	23,801
売上原価	18,908	17,766
売上総利益	6,132	6,034
販売費及び一般管理費	5,424	5,088
営業利益	707	946
営業外収益	346	129
営業外費用	231	269
経常利益	822	805
特別利益	0	24
特別損失	27	104
税金等調整前当期純利益	796	725
法人税等	583	331
当期純利益	213	394

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2012年4月 1日から 2013年3月31日まで	2011年4月 1日から 2012年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,690	595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,773	△1,620
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41	△1,819
現金及び現金同等物の期末残高	1,741	1,746

会社概要

商号	パンチ工業株式会社
創業	1975年(昭和50年)
資本金	6億7,420万円
従業員数	連結 3,553名
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号 明産高浜ビル8F TEL.03-3474-8007(代表)
事業内容	金型用部品の製造・販売
取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、 三井住友銀行、商工組合中央金庫、 りそな銀行

役員 (2013年6月25日現在)

代表取締役会長	森久保 有司
代表取締役社長	武田 雅亮
常務取締役	杉田 進
取締役	真田 保弘
取締役	村田 隆夫
取締役	八木 裕之
取締役(社外)	横山 茂
常勤監査役	佐々木 信也
常勤監査役	木 對 紀夫
監査役(社外)	安藤 良一
監査役(社外)	松江 頼篤

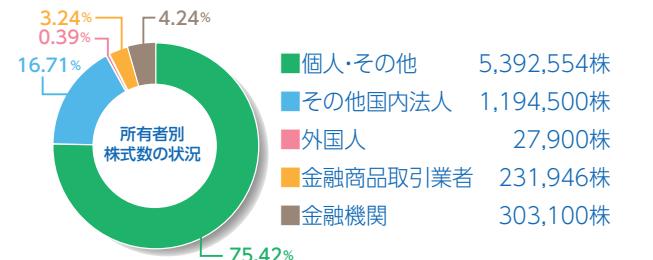
株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	7,150,000株
株主数	2,201名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率	
		株	%
エム・ティ興産株式会社	1,090,000	15.24	
森久保 有司	972,000	13.59	
パンチ工業従業員持株会	943,000	13.18	
森久保 哲司	650,000	9.09	
神庭 道子	310,000	4.33	
森久保 博久	100,000	1.39	
阿川 正司	80,000	1.11	
神庭 慎司	80,000	1.11	
森久保 やよい	80,000	1.11	
株式会社三菱東京UFJ銀行	80,000	1.11	

※持株比率は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しています。

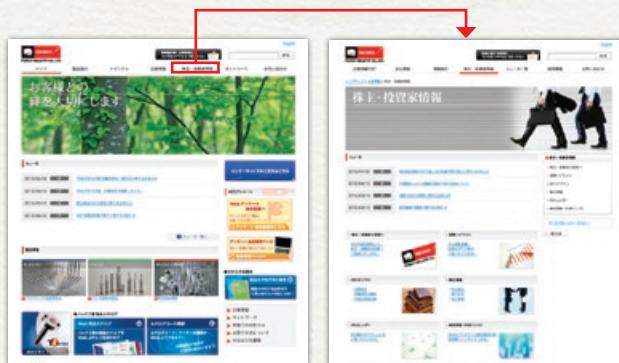


株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.punch.co.jp/companyinfo/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載します)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
単元株式数	100株

ホームページのご案内

パンチ工業株式会社のホームページでは、会社情報、事業紹介、IR情報をはじめ、さまざまな情報を掲載しております。



トップページ

株主・投資家情報ページ

<http://www.punch.co.jp/>



パンチ工業株式会社

本社: 〒108-0075
東京都港区港南二丁目12番23号 明産高浜ビル8F
TEL.03-3474-8007 FAX.03-3471-8100

UD
FONT
見やすくまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

